



主要な農作物の生育情報

平成22年度 第1号

(平成22年4月8日)

福島県農林水産部研究技術室



【表 類】

1 大麦 (シュンライ)

農業総合センター本部では生育量は旺盛ですが、節間伸長開始期が14日遅れています。浜地域研究所では生育量、節間伸長開始期ともにほぼ平年並みですが、葉齢がやや遅れています。

4月1日現在の生育には地域差がありますが、主産地を控える浜地域ではほぼ平年並みを確保しています。

2 小麦 (きぬあずま、ゆきちから)

農業総合センター本部の「きぬあずま」は幼穂形成始期が平年より6日早まったものの節間伸長開始期が14日遅れています。また、「ゆきちから」では幼穂形成始期が本部で15日、会津地域で3日遅れ、節間伸長開始期は未確認の状況にあります。(本部では平年が3月24日なので8日以上の遅れ、会津地域では平年が4月6日なので今後確定する)

4月1日現在の生育は、両品種とも草丈、茎数が平年並み以上を確保しています。

表1 麦類の生育状況*

種別	調査場所	品 種	は種期 (月.日)	幼穂形成 始期 (月.日)	節間伸長 開始期 (月.日)	4月1日調査*		
						草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢
大 麦	本 部	シュンライ	10.20(+1)	1.20(-1)	4.01(+14)	21.7(92%)	1,308(143%)	9.4(-0.4)
	浜 地 域	シュンライ	10.30(+5)	1.30(+4)	3.24(+1)	24.5(105%)	1,212(107%)	9.1(-0.6)
小 麦	本 部	きぬあずま	10.20(+1)	1.25(-6)	3.19(+16)	33.1(106%)	988(118%)	8.6(-0.4)
	浜 地 域	きぬあずま	10.30(+5)	2.04(+3)	3.17(+2)	34.8(116%)	962(100%)	8.2(-0.3)
	本 部	ゆきちから	10.20(+1)	3.05(+15)	未確認	22.2(101%)	2,156(134%)	9.2(-0.4)
	会津地域	ゆきちから	10.5(±0)	3.22(+3)	未確認	19.5(113%)	1,194(120%)	9.3(+0.3)

※農業総合センター本部(郡山)・会津地域研究所(会津坂下)・浜地域研究所(相馬)の調査による。

()内の数字は平年比較である。(但し前5カ年または4カ年平均値との対差・対比)

【野 菜】

1 イチゴ (3月20日現在)

促成栽培では、早いもので第2次腋果房の収穫がほぼ終了し、第3次腋果房肥大期となっております。着果数は概ね平年並みですが、2～3月の低温・日照不足の影響で生育が平年より3～7日程度遅れ、奇形果の発生がみられます。

半促成栽培は、第1次腋果房収穫後期で、第2次腋果房開花期となっております。生育は促成栽培と同じく2～3月の低温・日照不足の影響で3～7日程度遅れています。

病害虫ではうどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類が散見されます。

2 ニラ（3月20日現在）

伊達地方は、1年株の12月10日捨て刈りでのほ場で3番刈りの収穫中となっています。低温の影響により葉の伸びが遅く収穫までの日数を多く要しています。その他の地方での収穫は、ほぼ終了しています。

3 アスパラガス（4月6日現在）

ハウス半促成栽培の収穫開始は、会津平坦地で3月20日頃から、また南会津地方では3月30日頃から開始されいずれも平年並みとなっていますが、3月の低温の影響で収穫量は平年より減少しています。

露地栽培の収穫開始は会津平坦部で4月20日頃、会津山間地で4月下旬頃になる見込みです。

【果 樹】

1 果樹研究所における生育状況（4月1日現在）

- (1) モモの発芽は、「あかつき」が3月23日で平年より4日早く、「ゆうぞら」が3月24日で平年より5日早く確認しました。
- (2) ナシの発芽は、「幸水」「豊水」とともに近日中に発芽する見込みです。
- (3) リンゴの発芽は、「つがる」が3月26日で平年より2日早く、「ふじ」は3月26日で平年より4日早く確認しました。

表2 発育状況 (農業総合センター果樹研究所)

樹 種	品 種	発 芽			展 葉		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
モ モ	あかつき	3月23日	3月27日	3月20日	—	—	—
	ゆうぞら	3月24日	3月29日	3月21日	—	—	—
ナ シ	幸 水	未	4月5日	4月2日	未	4月17日	4月12日
	豊 水	未	4月1日	3月31日	未	4月12日	4月10日
リンゴ	つ が る	3月26日	3月28日	3月23日	未	4月11日	4月10日
	ふ じ	3月26日	3月30日	3月24日	未	4月11日	4月7日

2 県内産地における生育状況（4月1日現在）

(1) モモ

「あかつき」の発芽は、桑折町と須賀川市で平年より6～7日早く確認されましたが、会津若松市では平年より3日遅れました。

(2) ナシ

「幸水」の発芽は、県内各産地ともに確認されていません。

(3) リンゴ

「ふじ」の発芽は、伊達市で平年より3日早く確認されましたが、白河市や会津坂下町、下郷町では確認されていません。

4 開花予測

今後の気温が平年並に経過した場合、各樹種の開花始めは、モモ「あかつき」が4月15日頃で平年より1日早く、リンゴ「ふじ」が4月27日頃で平年並と予測されています。

なお、開花期は直前の気温に左右されやすいので、今後の気象経過に注意が必要です。

表3 開花予測日（4月1日現在）

（農業総合センター果樹研究所）

樹種	品種	開花始め		今後の気温経過と開花予測日		
		昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
モモ	あかつき	4月9日	4月16日	4月15日	4月13日	4月18日
リンゴ	ふじ	4月22日	4月27日	4月27日	4月23日	5月2日

【花き】

1 キク類（4月1日現在）

8月出荷向けの露地ギク栽培は、天栄村など一部地域では2月の低温の影響で親株の萌芽が遅れ、挿し穂の確保に苦慮しましたが、3月中旬から挿し芽等の育苗作業が順調に行われています。定植作業は、早い地域では4月中旬から開始される見込みです。

2 シュッコンカスミソウ（4月6日現在）

昭和村では、例年以上に融雪が遅れており、1m以上の積雪が残っている地域もあります。くん炭等を利用した融雪作業が行われていますが、定植作業は4月下旬からとなる見込みです。

なお標高の低い地域では、定植作業が3月下旬より順調に行われています。

3 トルコギキョウ（4月6日現在）

加温促成栽培、無加温促成栽培の生育は順調に進んでおり、生育の早いところでは4月中旬から出荷が始まる見込みです。また8月以降に出荷となる抑制栽培のは種作業は、2月から行われていますが、苗の生育は2～3月の低温の影響で平年並み～やや遅れとなっています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部研究技術室 TEL(024)521-7336

<http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/>